

請求の範囲

1. 画像データを記憶する第1の記憶手段と、前記画像データのビット数を低減する画像処理を行う画像処理手段と、前記画像処理後の画像データを記憶する第2の記憶手段と、前記画像処理後の画像データを表示する表示手段と、前記表示手段を駆動する表示駆動手段と、前記表示駆動手段の駆動を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記第1の記憶手段に記憶される前記画像データが動画データ又は静止画データのいずれであるかを判別し、静止画データである場合には、1画面分の前記画像データが前記第2の記憶手段に記憶された後に、前記第2の記憶手段、前記表示駆動手段、及び前記表示手段のみを作動させることを特徴とする画像表示装置。

2. 前記第2の記憶手段の記憶容量を、前記第1の記憶手段の記憶容量よりも少なくしたことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の画像表示装置。

3. 前記第2の記憶手段及び前記表示駆動手段を、同一チップに設けて一体化したことを特徴とする請求の範囲第2項に記載の画像表示装置。

4. 前記画像処理手段は、ディザ法又は誤差拡散法により画像処理を行うことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の画像表示装置。

5. 前記画像処理手段は、前記画像データが有するRGBの3要素について、画像処理後にGのビット数が最も多くBのビット数が最も少なくなるように、前記3要素の合計ビット数を低減する処理を行うことを特徴とする請求の範囲第4項に記載の画像表示装置。

6. 前記画像処理手段は、動画データのビット数を低減する画像処理を行う動画画像処理手段と、静止画データのビット数を低減する画像処理を行う静止画画像処理手段と、前記動画画像処理手段又は静止画画像処理手段における処理を切り替える切替手段とを備え、

前記制御手段は、前記第1の記憶手段に記憶される前記画像データが動画データ又は静止画データのいずれであるかを判別し、この判別結果に基づいて前記切替手段を作動させることにより、動画データであれば前記動画画像処理部で画像処理を行わせる一方、静止画データであれば前記静止画画像処理部で画像処理を

行わせることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の画像表示装置。

7. 前記動画画像処理部は、FRC法により画像処理を行い、前記静止画画像処理部は、ディザ法又は誤差拡散法により画像処理を行うことを特徴とする請求の範囲第6項に記載の画像表示装置。

- 5 8. 前記表示手段は、液晶パネルであることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の画像表示装置。